

フォトニュース

猪名川保育園で卒園式



▲3月19日、猪名川保育園で卒園式が行われました。保護者や来賓約100人が見守る中、ゆり組の28人が保育証書を受け取りました。卒園するゆり組の28人は、「クッキングでかんとんを作ったのが嬉しかったです」などと、一人ずつそれぞれの思い出を披露したあと、歌で卒園式の最後を締めくくりました。

一緒に英語の勉強をしましょう



▲3月24日、セレスト・ジョンズさんがオーストラリアのバララット市から、英語指導助手として来庁されました。「日本は初めてですが、バララット市の親善大使としても頑張りたいです。」と日本での抱負を語られました。セレストさんは、4月から中谷・六瀬中学校で、5月から阿古谷・楊津・大島・松尾台小学校で教諭とともに英語を指導されます。

道の駅いながわ春の感謝祭を開催



▲4月2日・同3日、道の駅いながわでは、春の感謝祭が行われました。来場者は、毎行列のそば雑炊やふるまい餅に舌鼓。また、いなぼうのグッズを制作したり猪名川の特産品を購入するなど、ぽかぽか陽気の中、春を満喫していました。

旧暦の雛祭り



▲4月1日～同6日、静思館では、文化協会主催の「雛祭り」が開催されました。明治時代から平成までのさまざまな年代の雛人形や、創作雛飾りなど約200点のお雛様達が、静思館のあちこちでお出迎え。華やかで、美しい雛人形が、来場者の目を楽しませていました。

町の催しで募金を呼びかけました



▲3月20日(日)、文化体育館で開催された「よしもとお笑いバラエティショー」で、来場者に東日本大震災義援金の募金を呼びかけました。開場とともに福田町長、宮脇副町長、辰口教育長、町職員が募金箱を持って募金を呼びかけ、また、終演後は趣旨に賛同したよしもとの出演者も募金活動に参加され、多くの来場者から義援金が寄せられました。

いな 歴史ウォーク ①

江戸時代の教育施設「寺子屋」

新年度を迎え、輝く瞳の一年生を見かけるようになりました。

江戸時代には町域でも寺院などで寺子屋が開かれ、子ども達が学んでいました。

宝永6(1709)年、銀山役人林九右衛門が退職し、銀山町で手習いを教え始めたのが、記録にある町域で最も早く開設された寺子屋です。

江戸時代後期には、全国的に寺子屋教育が充実します。

広根では安政3(1856)年、明治12(1879)年、僧侶村上覚量、尼僧清順尼が寺子屋を開設、安政5年、明治5年には徹道、寛中がもう1カ所開いて常時40人程が学



▲天澤寺(木津)

んでいました。

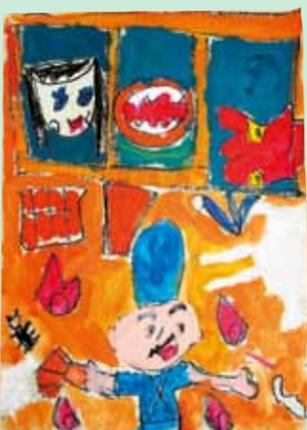
文久2(1862)年、木津村の天澤寺では、住職の稻垣法善が寺子屋を開き、弟子中西了随、嶺下大順が受け継ぎ明治5年廃業となりました。常に10人程が通って、読書・書方・算術・漢詩を学び、修業年限は4年となっていました。

また、紫合では「西鏡寺塾」の名称で、慶応2(1866)年、明治7年、僧侶広沢誠稟が教えました。

▼絵本『おばけのひっこし』より。天井裏からおばけがのぞいているよ。井村 有希さん(年長時の作品)



松尾台幼稚園



▲『冬じたくのお店』の劇遊び! みんなで動物に変身。とっても楽しかったよ!! 坂本 侑芽さん(年少時の作品)

◀絵本『冬じたくのお店』より! 動物たちがどんぐりのお金でお買い物をしているよ!! 在田 陽輝くん(年少時の作品)

▼絵本『おばけのひっこし』より。べんろべろべえというおもしろいおばけだよ。太田 陽愛花さん(年長時の作品)

